第2種

インフルエンザ

学校保健安全法
第2種

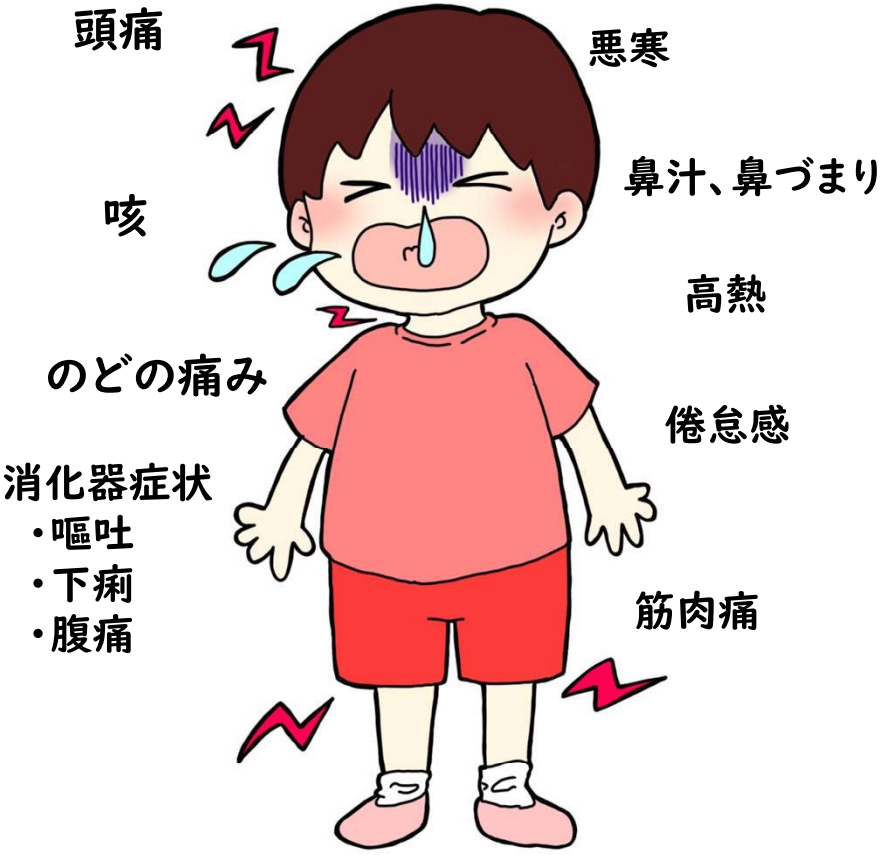
- 流行時期：11月下旬～4月上旬
- 原因：インフルエンザウイルスA・B型
- 潜伏期間：平均2日(1～4日)
- 感染経路：飛沫感染、接触感染
- 出席停止期間：発症した後**5日**を経過し、かつ解熱した後**2日**を経過するまで

例1　1/1に発症し、1/2病院を受診。1/4解熱。⇒1/7より登校可能

発症日	0日目	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目
経過	発症	発熱	発熱	解熱	解熱後1日目	解熱後2日目	登校可能
月日	1/1	1/2	1/3	1/4	1/5	1/6	1/7

例2　1/1に発症し、1/2病院を受診。1/5解熱。⇒1/8より登校可能

発症日	0日目	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目
経過	発症	発熱	発熱	発熱	解熱	解熱後1日目	解熱後2日目	登校可能
月日	1/1	1/2	1/3	1/4	1/5	1/6	1/7	1/8



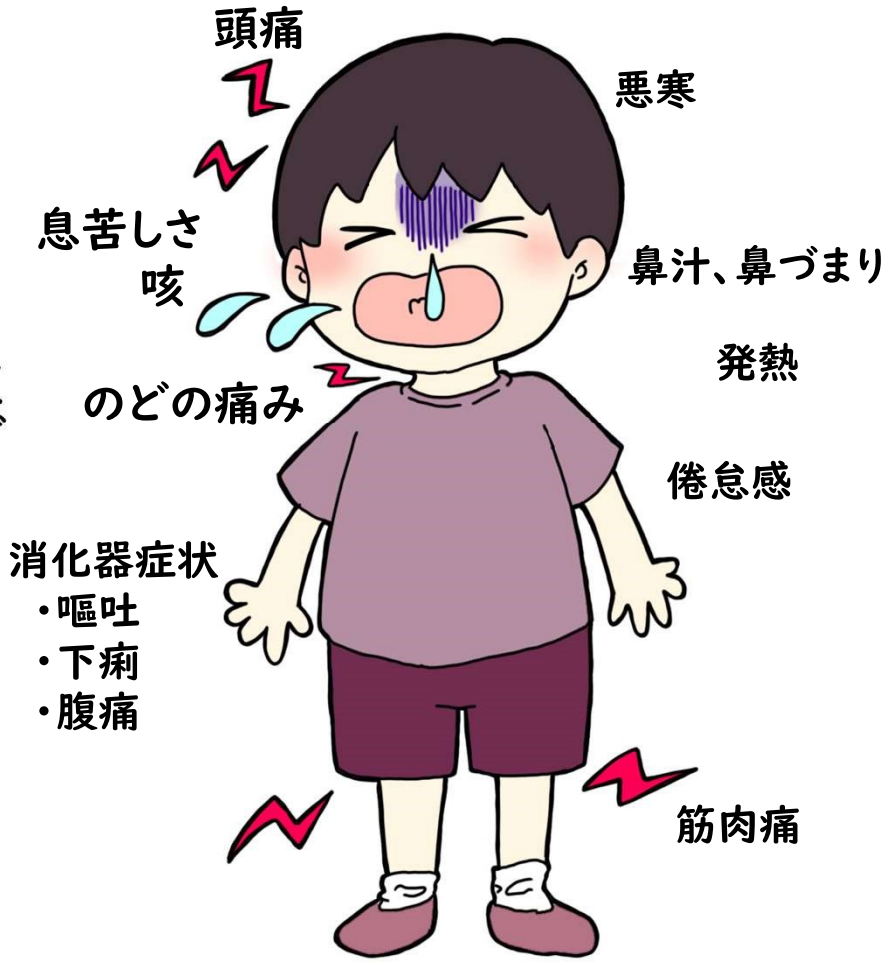
※インフルエンザ脳症を併発した場合は、けいれんや意識障害を来し、死に至る事や後遺症を残すこともある

※異常行動・異常言語がみられることもある

新型コロナウイルス感染症

学校保健安全法
第2種

- 流行時期：1年中
- 原因：コロナウイルス
- 潜伏期間：1～14日
- 感染経路：エアロゾル感染、飛沫感染、接触感染
- 出席停止期間：発症した後5日を経過し、かつ、症状が軽快（解熱剤を使用せずに解熱し、かつ、呼吸器症状が改善傾向にある状態）した後1日を経過するまで



例1　1/1に発症し、1/2病院を受診。1/5軽快。⇒1/7より登校可能

発症日	0日目	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目
経過	発症	症状有（発熱 咽頭痛 咳等）	症状有	症状有	解熱 症状 軽快	解熱症状軽快 1日目	登校 可能
月日	1/1	1/2	1/3	1/4	1/5	1/6	1/7

例2　1/1に発症し、1/2病院を受診。1/6軽快。⇒1/8より登校可能

発症日	0日目	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目
経過	発症	症状有（発熱 咽頭痛 咳等）	症状有	症状有	症状有	解熱 症状 軽快	解熱症状軽快 1日目	登校 可能
月日	1/1	1/2	1/3	1/4	1/5	1/6	1/7	1/8

学校保健安全法
第2種

百日咳

- 流行時期：春～夏
  （1年を通じて存在はする）
- 原因：百日咳菌
- 潜伏期間：主に7～10日(5～21日)
- 感染経路：飛沫感染、接触感染
- 出席停止期間：特有の席が消失するまで または 5日間の適切な抗菌薬療法が終了するまで



咳のため眠れなくなり
顔がむくむ

連続して止まらない咳

夜間に咳がひどくなる

小学生以上になると咳の症状がなかなかとれない風邪と思われることも少なくない

学校保健安全法
第2種

麻しん

- 流行時期：春～初夏
- 原因：麻しんウイルス
- 潜伏期間：主に8～12日(7～18日)
- 感染経路：空気感染、飛沫感染、
  接触感染
- 出席停止期間
  ：解熱した後3日を経過するまで

カタル期：2～4日



目が赤くなる
光がまぶしくなる
咳
くしゃみ
発熱
鼻汁

発疹期：3～5日



口腔粘膜に
白色点状の
コプリック斑

熱は、一旦
下がるが、
半日ほどで再び
38℃～40℃の
高熱がでる

別の病気に同時
にかからなけれ
ば、7～10日後
に回復

学校保健安全法
第2種

風しん

- 流行時期：**春～初夏**
- 原因：**風しんウイルス**
- 潜伏期間：**主に16～18日(14～23日)**
- 感染経路：**飛沫感染、接触感染**
- 出席停止期間：**発しんが消失するまで**



学校保健安全法
第2種

流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）

- 流行時期：冬～春
- 原因：ムンプスウイルス
- 潜伏期間：主に16～18日（12～25日）
- 感染経路：飛沫感染、接触感染
- 出席停止期間
  ：耳下腺、顎下腺又は舌下腺の腫脹が
  発現した後5日を経過し、
  かつ全身状態が良好になるまで



耳下腺の腫れ
顎下腺や
舌下腺も
腫れることが
ある

熱がでる人もいれば
熱がでない人もいる

合併症：
- 無菌性髄膜炎
- 難聴
- 思春期以降の罹患では
  精巣炎、卵巣炎などの
  合併症がある

学校保健安全法
第2種

水痘（みずぼうそう）

- 流行時期：12月～7月
- 原因：水痘・帯状疱疹ウイルス
- 潜伏期間：主に14～16日
- 感染経路：空気感染、飛沫感染、
  接触感染
- 出席停止期間
  ：全ての発しんがかさぶたになるまで

発疹は体と首のあたり
から顔面に生じやすい

発熱

発疹のかゆみや疼痛を
訴えることもある



発疹は、紅斑、水疱、膿疱、かさぶたの順に変化する

学校保健安全法
第2種

咽頭結膜熱（プール熱）

- 流行時期：6月～夏
- 原因：アデノウイルス
- 潜伏期間：2～14日
- 感染経路：飛沫感染、接触感染
- 出席停止期間
  ：発熱、咽頭炎、結膜炎等の主要症状が消退した後2日経過するまで



学校保健安全法
第2種

結核

- 原因：結核菌
- 潜伏期間：2年以内、特に6か月以内
  感染後、十数年後に症状が
  出現することもある
- 感染経路：空気感染
- 出席停止期間
  ：症状により学校医その他の医師において
  感染のおそれがないと認められるまで

肺結核の症状



種類として、潜在性結核感染症、肺結核、
肺外結核、粟粒結核、結核性髄膜炎がある

学校保健安全法
第2種

髄膜炎菌性髄膜炎

- 原因：髄膜炎菌
- 潜伏期間：主に4日以内（1～10日）
- 感染経路：飛沫感染、接触感染
- 出席停止期間
  ：症状により学校医その他の医師において
  感染のおそれがないと認められるまで



第3種

学校保健安全法
第3種

コレラ

- 原因：コレラ菌
- 潜伏期間：主に1～3日（数時間～5日）
- 感染経路：飛沫感染、接触感染
- 出席停止期間
  ：治癒するまで出席停止が望ましい



下痢は白色・灰白色の水様便

学校保健安全法
第3種

細菌性赤痢

- 原因：**赤痢菌**
- 潜伏期間：**主に1～3日（1～7日）**
- 感染経路：**経口（糞口）感染**
- 出席停止期間
  ：**治癒するまで出席停止が望ましい**



学校保健安全法
第3種

腸管出血性大腸菌感染症

- 流行時期：初夏～初秋
- 原因：腸管出血性大腸菌
  （O157、O26、O111等様々な
  ベロ毒素産生性大腸菌）
- 潜伏期間：10時間～6日
- 感染経路：接触感染、経口（糞口）
  感染、生肉などの飲食物から感染
- 出席停止期間
  ：有症状者の場合は、医師において
  感染のおそれがないと認められるまで



乏尿や出血傾向、意識障害は、溶血性尿毒症症候群や急性脳症の合併を示唆する症状であり、このような場合は速やかに医療機関を受診する

学校保健安全法
第3種

腸チフス、パラチフス

- 原因：腸チフス→チフス菌
  パラチフス→パラチフスA菌
- 潜伏期間：
  腸チフス→7～14日（3～60日）
  パラチフス→1～10日
- 感染経路：経口（糞口）感染
- 出席停止期間
  ：治癒するまで出席停止が望ましい



重症例では腸出血や腸穿孔などがある

学校保健安全法
第3種

流行性角結膜炎

- 流行時期：夏
- 原因：アデノウイルス
- 潜伏期間：2～14日
- 感染経路：接触感染（プール水、手指、タオルなど介して感染）
- 出席停止期間
  ：目の症状が軽減してからも感染力が残る場合があり、医師において感染のおそれがないと認められるまで



角膜炎後の角膜混濁により
視力障害を残す可能性がある

学校保健安全法
第3種

急性出血性結膜炎

- 原因：エンテロウイルス70(EV70)、
  コクサッキーウイルスA24変異型(CA24v)
- 潜伏期間：EV70→平均24時間
  CA24v→2～3日
- 感染経路：接触感染
- 出席停止期間
  ：目の症状が軽減してからも感染力
  が残る場合があり、医師において
  感染のおそれがないと認められるまで



その他の感染症

学校保健安全法
その他の感染症

溶連菌感染症（主にA群溶血性レンサ球菌感染症）

- 流行時期：秋～春
- 原因：主にA群溶血性レンサ球菌
- 潜伏期間：2～5日
- 感染経路：飛沫感染、接触感染
- 出席停止期間

：適切な抗菌薬療法開始後24時間以内に他への感染力は消失するため、それ以降の登校は可能

※ただし、定められた期間は抗菌薬の内服を継続すること



学校保健安全法
その他の感染症

感染症胃腸炎

- 流行時期：秋～春
- 原因：主としてノロウイルス、
  ロタウイルスなど
- 潜伏期間：ノロ→12～48時間
  ロタ→1～3日
- 感染経路：飛沫感染、接触感染、
  経口（糞口）感染、ノロは貝などの
  食品を介しての感染もある
- 出席停止期間
  ：下痢、嘔吐が軽減した後、全身状態
  の良い者は登校可能だが、回復者であっても
  排便後の始末、手洗いの励行は重要



学校保健安全法
その他の感染症

マイコプラズマ感染症

- 流行時期：秋～冬
- 原因：肺炎マイコプラズマ
- 潜伏期間：主に2～3週間（1～4週間）
- 感染経路：飛沫感染、接触感染
- 出席停止期間
  ：症状が改善し、全身状態の良い者は登校可能



学校保健安全法
その他の感染症

手足口病

- 流行時期：夏
- 原因：コクサッキーウイルスA16型・A6型、エンテロウイルス71型
- 潜伏期間：3～6日
- 感染経路：飛沫感染、接触感染、経口（糞口）感染
- 出席停止期間
  ：本人の全身状態が安定している場合は登校可能
  ウイルスの排出期間が長いため、手洗いの励行が重要



学校保健安全法
その他の感染症

伝染性紅斑（りんご病）

- 流行時期：1月～7月
- 原因：ヒトパルボウイルスB19
- 潜伏期間：4～14日（～21日）
- 感染経路：主として飛沫感染
- 出席停止期間
  ：発しん期には感染力はないので、
  発しんのみで全身状態の良い者は登校可能



一旦消失しても日光に当たったり
入浴したりすると再び紅斑として出現

学校保健安全法
その他の感染症

ヘルパンギーナ

- 流行時期：春～夏
- 原因：コクサッキーA群ウイルス
- 潜伏期間：3～6日
- 感染経路：飛沫感染、接触感染、
  経口（糞口）感染
- 出席停止期間
  ：全身の状態が安定している場合は登校可能であるが、長期間、便からウイルスが排出されるので手洗いの励行が重要



学校保健安全法
その他の感染症

RSウイルス感染症

- 流行時期：冬
- 原因：RSウイルス
- 潜伏期間：4～6日（2～8日）
- 感染経路：飛沫感染、接触感染
- 出席停止期間

：発熱、咳などの症状が安定し、
全身状態の良い者は登校可能
だが、手洗いを励行する



学校保健安全法
その他の感染症

EBウイルス感染症

- 原因：エプスタイン・バールウイルス
- 潜伏期間：30～50日
- 感染経路：キスや唾液を介した感染
  濃厚接触による飛沫感染
- 出席停止期間
  ：解熱し、全身状態が回復した者は
  登校可能



学校保健安全法
その他の感染症

単純ヘルペスウイルス感染症

- 原因：単純ヘルペスウイルス１型、２型
- 潜伏期間：２日～２週間
- 感染経路：水疱内にあるウイルスの
  接触感染
- 出席停止期間
  ：口唇ヘルペス・歯肉口内炎のみ
  であれば、マスクなどして登校可能
  発熱や全身性の水疱がある場合は
  欠席して治療が望ましい

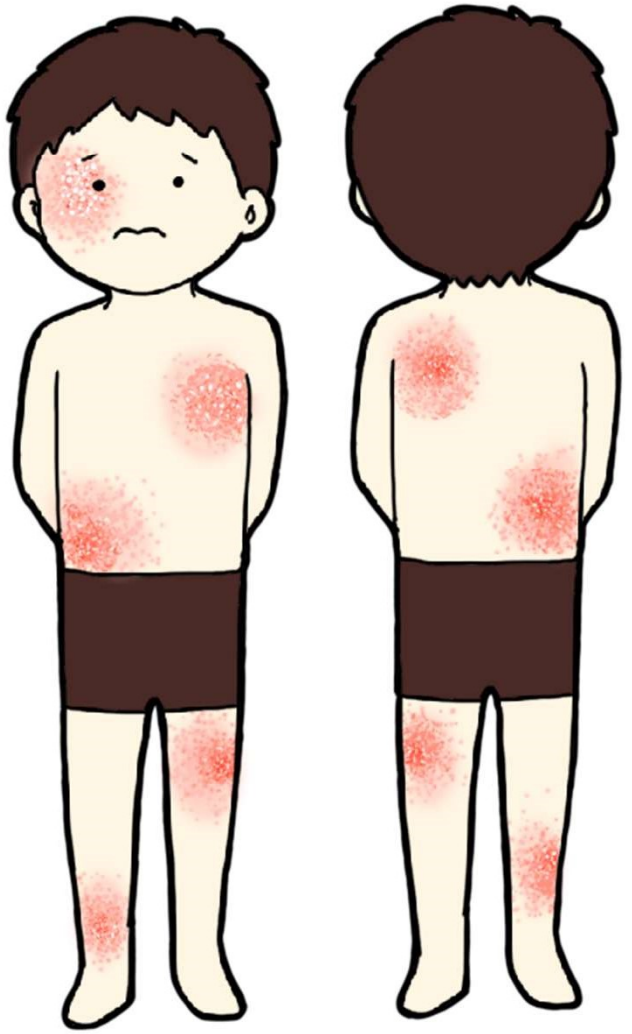


学校保健安全法
その他の感染症

帯状疱疹

- 流行時期：春～秋
- 原因：水痘・帯状疱疹ウイルス
- 潜伏期間：水痘・帯状疱疹ウイルスに初感染した後、三叉神経節を含む脳神経節や脊髄後根神経節等に潜伏していたウイルスが再活性化することで発症するため、期間は特定できない
- 感染経路：接触感染が主、飛沫感染
- 出席停止期間

：水痘ほど感染力が強くなく、空気感染はないため、病変部を適切に被覆していれば登校可能
ただし、全ての皮疹がかさぶたになるまで、接触に注意が必要



潜伏していた神経に一致した領域に片側に丘しん、小水疱が帯状に群がって出現

神経痛

刺激痛

かゆみ

学校保健安全法
その他の感染症

サルモネラ感染症（腸チフス、パラチフスを除く）、カンピロバクター感染症

- 流行時期：夏～秋
- 原因：サルモネラ感染症、
  カンピロバクター菌
- 潜伏期間：
  サ→主に12～36時間（6～72時間）
  カ→主に2～5日（長くなる場合もある）
- 感染経路：家畜、は虫類、ペットなどが保菌
  鶏肉、鶏卵などの食品を介した
  経口感染が多い
- 出席停止期間
  ：**下痢が軽減すれば、登校可能**であるが、
  菌の排出は長く続くことがあるので、排便後の始末、手洗いの励行が重要



学校保健安全法
その他の感染症

インフルエンザ菌感染症
肺炎球菌感染症

- 原因：インフルエンザ菌（インフルエンザ菌b型(Hib)など）、肺炎球菌
- 潜伏期間：主に2～3週間（1～4週間）
- 感染経路：飛沫感染、接触感染、不顕性感染
- 出席停止期間
  ：発熱、咳などの症状が安定し、全身状態の良い者は登校可能



学校保健安全法
その他の感染症

A型肝炎

- 原因：A型肝炎ウイルス
- 潜伏期間：平均28日（15～50日）
- 感染経路：

  経口感染（牡蠣やその他の魚介類等）

  糞口感染（家族や施設内）

  接触感染
- 出席停止期間

  ：発病初期を過ぎれば感染力は急速に消失するので、

  肝機能が正常になった者については登校可能



学校保健安全法
その他の感染症

B型肝炎

- 原因：B型肝炎ウイルス（HBV）
- 潜伏期間：平均90日（45～160日）
- 感染経路：

  HBVキャリアの母からの垂直感染、
  HBVキャリアの人の傷口との接触、
  歯ブラシやカミソリなどの共用に伴う
  水平感染、性行為による感染



- 出席停止期間

  ：急性肝炎の急性期でない限り登校可能

  ただし、血液、体液に触れる場合は手袋の着用等、標準予防策が大切

学校保健安全法
その他の感染症

伝染性膿痂疹（とびひ）

- 流行時期：梅雨～夏
- 原因：主として黄色ブドウ球菌や
  A群溶血性レンサ球菌
- 潜伏期間：2～10日、長期の場合も有り
- 感染経路：接触感染、痂皮にも
  感染性が残っている
- 出席停止期間
  ：出席停止の必要はないが、炎症の強い場合や、化膿した部分が広い場合は、傷に直接触れないようにする



学校保健安全法
その他の感染症

伝染性軟属腫（水いぼ）

- 流行時期：夏
- 原因：伝染性軟属腫ウイルス
- 潜伏期間：2～7週（6か月のこともある）
- 感染経路：接触感染
- 出席停止期間

：出席停止の必要はないが、

プールや水泳で直接肌が感染者の露出部の水いぼは覆ったり、処置したりしておく

タオル、ビート板などの共用を避ける



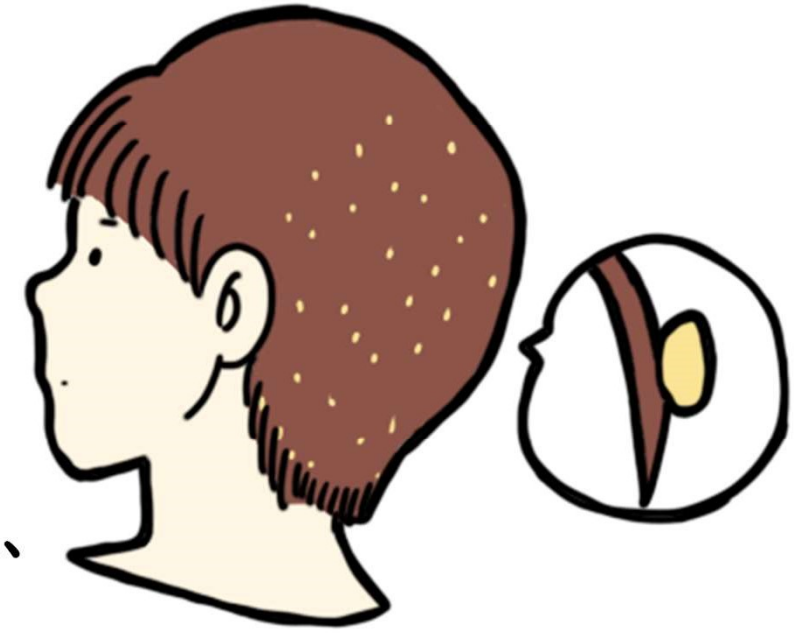
様々な大きさの丘しん

体幹部や四肢に多発する傾向にある

学校保健安全法
その他の感染症

アタマジラミ症

- 原因：アタマジラミ、ケジラミ
- 潜伏期間：
  産卵からふ化までは10～14日
  成虫までは2週間
- 感染経路：接触感染（家族・集団の直接接触、
  タオル・くし・帽子を介しての間接接触）
- 出席停止期間
  ：出席停止の必要はない
  ただし、できるだけ早期に適切な
  治療をする必要がある



一般には無症状だが、
吸血部位にかゆみを訴えることがある

学校保健安全法
その他の感染症

疥癬（かいせん）

- 原因：ヒゼンダニ
- 潜伏期間：感染して約1～2か月
  角化型疥癬は4～5日
- 感染経路：
  通常疥癬は接触感染、寝具を介した感染
  角化型疥癬は脱落した角質でも感染
- 出席停止期間
  ：治療を始めれば出席停止の必要はない
  ただし手をつなぐなどの遊戯・行為は避ける
  角化型は感染力が強いため、治癒するまで
  外出は避ける

通常疥癬



強烈なかゆみ

体幹、四肢に丘しん、
紅斑が種状に出現

角化型疥癬



全身に
皮疹が
生じる

学校保健安全法
その他の感染症

皮膚真菌症

白癬、特にトンズランス感染症

- 原因：トリコフィトン・トンズランス
  （白癬菌に一種）
- 潜伏期間：数日から数週間
- 感染経路：接触感染
- 出席停止期間
  ：出席停止の必要はない
  ただし、接触の多い格闘技の練習・試合などは、感染のおそれがなくなるまでは休ませる

